

(財)堺市都市整備公社

さかいまちづくりNEWS

魅力と活気あふれる堺をめざす!

発行 / 平成23年12月 NO.2
 財団法人堺市都市整備公社
 〒590-0077
 堺市堺区中瓦町2-3-24博愛ビル
 TEL 072-222-4050
 FAX 072-222-4063
 E-mail: machi@sakai-toshiseibi.or.jp
 URL: http://www.sakai-toshiseibi.or.jp/



堺東イルミネーション2011

日時 12月1日(木)～平成24年1月4日(水)
 17:00～23:00

今冬の節電協力のため、開催期間を短縮しました。

場所 大小路シンボルロード一帯
 (堺区中瓦町1・2丁、南瓦町、三国ヶ丘御幸通)

堺東駅周辺の冬の風物詩となっているイルミネーションが、今年も12月1日(木)～平成24年1月4日(水)の17時～23時、大小路シンボルロードを彩ります。

今年は、より一層堺東の賑わいと魅力アップを演出するため、堺東の商店街をはじめ、市内外の多くの企業・団体に協賛いただきました。なお、今冬の節電に協力するため、実施期間を昨年より短縮し、噴水2箇所、街路樹34本などの約5万個の電球は、すべてLED球を使用しています。併せて、市民参加イベントとして、願いごと短冊をお配りし、子どもたちをはじめとする市民の願いを綴った短冊を高層館21階、堺東商店街等のツリーに飾ります。

堺東の町が活気にあふれ、東北へ元気が伝わりますように…。

問合せ 堺市中心市街地活性化協議会
 (財)堺市都市整備公社内 222-4050



協賛企業・団体

堺東商店街連合会 / SMBC日興証券(株)堺支店 / 大阪信用金庫堺東支店 / 大阪ガス(株) / かに道楽堺店 / 住友信託銀行(株)堺支店 / 住友生命保険(相)堺支社 / (株)銭高組 / 南海電気鉄道(株) / 南海バス(株) / 野村證券(株)堺支店 / (株)みずほ銀行堺支店 / 郵便局(株)堺郵便局 / (社)堺観光コンベンション協会

商店街イルミネーションのご案内

- ▶GINZA 星降る街2011 未来へのメッセージ:堺銀座商店街
- ▶堺東なかしん商店街イルミ:堺東中瓦町商店街振興組合
- ▶Merry Christmas & 謹賀新年:堺銀座西商店街振興組合
- ▶クリスマス グリーンアーチ2011:堺東駅前商店街協同組合
- ▶未来も明るく、こんな風に!:ジョルノ専門店商業組合
- ▶ぎんざきた 星のひかりタウン:堺銀座北商店街
- ▶堺東市場イルミ:堺東商店街商業協同組合

堺東まちなか“逸品バル”

～堺東周辺を食べつくす3日間～

期間:12月1日(全店17時スタート)～3日(各店営業時間)
 バルチケット1冊 2,000円(4枚綴)

願いごと短冊(市民参加イベント)

堺市役所高層館21階ロビー、堺東観光案内所、堺東商店街に置かれたツリーに、子どもたちをはじめとする市民の願いを綴った短冊を飾ります。

イルミネーションマップ



大小路界限「夢」倶楽部イルミネーションの期間は、12/1～平成24年1/14です。



まちづくり活動交流会

深めよう、高めよう、まちづくりの知識や思い



平成23年9月16日(金) 18:30 ~ 20:30



(財)堺市都市整備公社会議室

平成23年度まちづくり活動支援助成金交付団体が集まり、現在の活動状況を報告していただきました。

活発な意見交換、情報提供が行われ、他の団体のユニークな活動に感心したり、活動に行き詰まっている団体は、他の団体からアドバイスを受けたりしながら、まちづくりの思いを刺激し合いました。今後も、このような交流を深め、まちづくりに取り組むための課題、問題を皆で解決していき、連携を深めていこうという思いになりました。

出席者

まちづくり活動支援助成審査委員会

委員長 上南木 昭春 委員 田中 晃代

団体：若者支援サークル(1484)、堺・ちくちく会、畑まちづくり推進委員会、守屋池を愛する会、堺たんけんクラブ、地域力を高める会

意見交換や情報提供

「若者支援サークル(1484)」

市役所との協働を進めていく中で、付き合うコツが分かってきた。市役所の意見も聞き、私たちがからでることによって協力していきたい。また、泉北NTの再生を応援していきたい。

各団体のまちづくりを見学するという「まち歩き」を企画するとおもしろい。

「守屋池を愛する会」

掃除をしていると、季節を感じ、町行く人にふれあえる楽しみがあり、声かけ運動が気持ち良い。90歳以上の方も参加し、70歳位の方も柵の中に入り、危険な作業も引き受けてくれる。地域をみんなで守っているという感じだ。

「堺・ちくちく会」

堺をもっと知り、新たに もっと 良くしたい。そして、いろいろな人に係わりたいたいという思いから大学生が入会した。

三好一族の像をつくるため、募金活動に取り組んでいく。今年の堺まつりで大名行列の時に三好一族で出陣する予定。南宗寺界隈の住民がいないのが検討課題だが、あせらず、自然にまかせながら、何かをしていきたい。

「畑まちづくり推進委員会」

竹の子掘り、竹馬、竹とんぼなど作り、また、稲刈りなど田舎の良いところを子どもたちに伝えている。また、上神谷街道の整備をし、安全に歩けるようにしている。南区のまち歩きに協力し、畑地区内を歩いてもらった。

自己満足でも良いので、続けていきたい。

「堺たんけんクラブ」

堺の小学校に協力をしているが、若い先生でも、今や土塔も知らない。大和川の歴史も知らない。そういう現状。北区まちづくり委員会に提案し、



「大和川を活かしたまち」をテーマに講義などに取り組む。南区や堺区にも協力している。

まち歩きで今無いものも知らせ、刺激を与えたい。

「地域力を高める会」

アンケート調査をすると、住んでいる地域がみえてくる。今後、地域のしくみや活動を考えていきたい。挨拶のできるまちにしたい。自治会との連携などいろいろな課題があるので、ここにいる皆さんにアドバイスを受けたい。



まちづくり活動支援審査委員から

上南木委員長

各団体とも生き生きと活動しています。顔見知りになりたいという思いやちょっとしたきっかけで活動は広がります。

活動に取り組む時に、アンケートなどでまちのニーズを探り出すことはいい。子どもたちが参加した活動などはまとめておくと、他の学校の教材にもなると思う。

テーマを持った団体や自治会との連携も大切です。

田中委員

活動報告を聞いているだけで楽しかったです。掃除しない人たちもいる現在、掃除することが公共性を知るきっかけになると思う。ここから「まちづくり」は、はじまると思います。地図情報が豊富な資料は、私の大学の学生の参考になります。

皆さんの話を聞いていて、映画「コクリコ坂から」を思い出し、街のシンボルとなる古い建物を保存するか保存しないか学生達が考える内容で、思いが重なりました。

さかいまちづくり塾

未来に残す地域づくり～人づくり、仕掛けづくりのヒントはここにある！

第1回

講座 「奈良の歴史的遺産を生かした人づくり、賑わいづくりに学ぶ。」

11月25日(金)
18:30～20:30

意見交換会

講師：朝廣 佳子氏（株式会社読売奈良ライフ代表取締役社長）
コーディネーター：上南木 昭春氏（大阪府立大学大学院教授）
コメンテーター：塚本 直幸氏（大阪産業大学教授）



【講座】

講師：朝廣 佳子氏

●はじめに

私は、地域情報誌「yomi っこ」の発行など情報を提供する仕事の傍ら、青年会議所などを通じてまちづくりに関わってまいりました。今日は、「なら燈花会（とうかえ）」を中心にご紹介いたします。

●なら燈花会

平成11年に誕生した「なら燈花会」は、毎年8月5日から10日間、奈良公園一帯をろうそく2万個の灯りを灯す祭りです。

運営は、NPO法人なら燈花会の会（会員約300人）、当日サポーターは10日間で約4000人、ボランティアは5～6歳から80歳以上まで誰でも参加出来ます。会員は、警備や広報、販促などを担当し、2万個のろうそくは、サポーターが、カップを並べ、火を灯します。

6年目に来場者70万人を突破、平成21年は、9日間72万人（最高14日16万人）でした。6年目の奈良市への経済効果は、直接効果15億円、間接効果を含めると、28億円でした。

●燈花会の起こり

奈良の夏の新しい観光資源の創出のため、1989年、「ならまつり」を始めましたが、市民祭りとしては定着したものの、奈良らしい祭りではなく、実施組織の持ち回りや行政主導で内容が左右されるなど様々な課題が山積し、1998年に終了し、「まつりを考える会」を発足し、1999年「なら燈花会」が誕生しました。

誰を対象にするか？期間はどうか？世界遺産の地にどうやっろうそくを並べるか？など方法を探り、現在の形で運営しています。「障害者のためのイベント・早咲きの日」、「一客一燈」、「ほのあかりライブ」を行い、「オリジナルグッズ」も販売しています。

●燈花会が成長した要因

静寂と闇と神仏の住まう奈良公園のロケーション、スケールの大きさ、本物の火を使っていて、シンプルであること、参加型観光になっている、中長期的な視野



での展開、地域・行政・企業とのパートナーシップ、ボランティアの力や口コミ、そして、心のこもったおもてなしというホスピタリティを基本としていることが、成長の要因だと思います。

●まちづくりのポイント

まちづくりに取り組む時に、私が気を付けていることは、観念を捨てる、前例踏襲主義を打ち破る、ばか者、よそ者、若者、女性、行政の異端児をキーマンにする、成功イメージを皆で共有する、ポジティブシンキングで柔軟な発想を持つ、参加しやすく達成感を得られやすい状況をつくる、やる気にさせる場をつくる、ピンチはチャンス、信念を貫き、決してあきらめない、やりきる覚悟を持つ、周りに感謝すること、そして、最後はやる気と根気！、出来るか出来ないかではなく、やるかやらないか だと思っています。

【意見交換と質疑応答】

朝廣さんの講演後、上南木教授に進行をお願いし、質疑応答や塚本教授の感想を頂きました。質問では、「なら燈花会」について、より深く質問が寄せられました。



上南木教授からは、観光カリスマでもある朝廣さんに、堺の町をどうすればよいかアドバイスをお願いし、奈良の人々の奈良への思いや考えはどう変わったかを尋ねられました。

朝廣さんは、「奈良の人も、実は、あまり奈良の良さに気付いておらず、以前は交通が不便、奈良に旨いもん無しなどと言われていましたが、燈花会や遷都祭など市民が作る祭りが増え、現在ではボランティア人口比率は全国2位に、またミシュランガイドにも奈良のお店が入り、奈良の人が奈良を誇りに思えるようになり、意識も高まってきました。」と話されました。

塚本教授は、「いろいろな困難を乗り越えられ感動しました。奈良での活動の成功のポイントは 自発的かつ継続的 であるところかと思う。以前、観光について調査したことがあり、観光地というのは、住んでいる人も快適で魅力ある町と思えること、地域に対してどこまで誇りが持てるかということだと思う。まちづくりに取り組んでいて、結果として、らしさを追究する、そして、ホンモノを見せるということ、それが継続的に取り組むことができるポイントだと思う。」と述べられました。

最後に、上南木教授は、「地域の良さを読み取り、それを色々な人に伝え、関心を持ってもらう。そこから活動の芽が芽生え、つながりができてくると思います。」と締めくくられました。

歴史的景観が残るまちなみを歩いて

堺環濠都市地域は、堺の中心部として室町時代から戦国時代にかけて貿易で栄えた市街地で、数百年以上を経てもなおその当時の町割、まちなみの面影を残している貴重な地域です。

北旅籠町などの北部には戦災を免れた寺院など歴史的建造物が多く残され、伝統的町家が点在し、「秋季堺文化財特別公開」期間中に、修復工事を経てオープンした「堺市立町家歴史館・清学院」を中心とする地域を歩いてみました。

「清学院」は修験道場の寺院としての歴史を持ち、江戸後期から明治初期にかけては「清光堂」の名で寺子屋としてもつかわれ、仏教の普及に生涯をささげた堺市生まれの在家仏教僧・河口慧海もここで学びました。

一般公開では土間、座敷、奥座敷、不動堂（廊下から拝観）の見学が可能です。奥座敷では当時の寺子屋の様子（読み・書き・算盤）が再現されていました。慧海が親戚に贈った自筆和歌入り鉄瓶と絵葉書などの展示は今回が初公開でした。

この界隈の景観は、環濠都市として栄えた歴史を伝えるとともに、現在も都市基盤として活かされていますが、ぼつぼつと洋風の新しい家や駐車場も目立ちます。

堺市では、景観法に基づく景観計画の策定及び堺市景観条例が改正され、12月1日から施行されます。

今後は、時代の変化へ対応した歴史的景観を活かしたまちなみ整備や、魅力あるまちづくりが期待されます。

清学院



まちづくりの力を磨く！

参加者募集中！

▶さかいまちづくり塾「未来に残す地域づくり～人づくり、仕掛けづくりのヒントはここにある！」

【第2回】平成23年12月14日(水) 18:30～20:30

「一乗谷朝倉氏遺跡に見られる地域活性と景観保全活動に学ぶ。」

講師：岸田 清さん(社団法人朝倉氏遺跡保存協会会長)

【第3回】平成24年1月27日(金) 18:30～20:30

「空堀の人と人を結ぶまちなか再生事業に学ぶ。」

講師：六波羅 雅一さん(六波羅真建築研究室代表)

意見交換会：コーディネーター(各回)：大阪府立大学大学院教授・上南木昭春氏

コメンテーター：第2回=大阪ガス(株)近畿圏部顧問・正木啓子氏 第3回=近畿大学専任講師・田中晃代氏

▶景観シンポジウム「協働で取り組む景観まちづくり」

日時 平成24年1月15日(日)

13:45～16:45

場所 堺市民会館小ホール

先着 200名(市内在住、在勤、在学者)

参加費無料

申込 住所、氏名、電話番号、参加人数を記載し、FAX、メール、郵送、又は電話でお申し込みください。

申込先 (財)堺市都市整備公社

〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-24 博愛ビル

TEL 222-4050 FAX 222-4063

E-mail: machi@sakai-toshiseibi.or.jp

(プログラム)

基調講演

「歴史文化を活かした景観まちづくり」

講師：宗田 好史氏 京都府立大学准教授

パネルディスカッション

「堺の景観形成で私たちができること」

～百舌鳥古墳群周辺地域・堺環濠都市地域～

コーディネーター

増田 昇氏 大阪府立大学大学院教授

パネリスト

宗田 好史氏 京都府立大学准教授

朝廣 佳子氏 (株)読売奈良ライフ代表取締役社長

奥野 圭作氏 大小路界限『夢』倶楽部代表幹事

間宮 吉彦氏 (株)インフィクス代表取締役社長

荻田 俊昭 堺市建築都市局長

編集後記

奈良の朝廣さんのお話を聞き、自分たちが住むまちの見方や物事のとらえ方など、大変参考になり、塾に参加された方々も、人々が協力して行動することで地域が変わるということを知り、一人ひとりが自ら今一歩踏み出す勇気を持っていただけたのではないかと思います。